

第2回 貝塚公園既存施設のあり方検討会（要旨）

日 時：令和6年10月11日(金)10時00分から12時00分まで

場 所：貝塚公園及びのむら貝塚ガーデンシティーコミュニティセンター

概 要：検討対象の20施設の現状を、現地にて確認した。それを踏まえ、各施設の評価（案）について各委員からご意見を伺った。

委員からの主な意見（抜粋）：

【ゴーカート】

- ・価値はないが、思い入れがある方はいらっしゃると思う。
- ・ターゲットは、従来通り、幼児で良い。
- ・もし、電動キックボードや新しいモビリティ技術を導入するのなら、新技術を体験、練習できる場として位置づけられるのではないかと。
- ・対象年齢が広がるのなら、年齢別にコースを区分することや、運営時間などの検討が必要である。

【ブルートレイン、蒸気機関車】

- ・親子で宿泊体験をしてもらう活用してはどうか。
- ・ブルートレインと蒸気機関車が並んでいるところが良い景色である。
- ・市でこれらの施設を管理するのは難しいので、第三者機関に任せた方がよい。活用においては、民間が投資しやすい仕組みを設けた方がよい。
- ・活用する場合、JRに借りているものであるため、契約に関する整理が必要である。

【飛行機、ジープニー、サムロー】

- ・経年劣化に耐えられずに躯体が破壊することが怖いので、早めの対応が必要。子どもが集まる公園なので、安全性を重視し、危険なものは排除する必要がある。費用対効果を考えると、残す意味があるのか疑問である。ただし、コアなファンの存在は想定されるので配慮が必要である。

【石の山】

- ・地元の利用者から「絶対残して欲しい」と強く言われており、案2は今の「山」の土台を有効利用できる案である。
- ・子どもたちが360度から「山」に登れる姿を見ているととても楽しそうだった。案1のように柵をしてしまうと、あの光景を見られなくなってしまい寂しい。案3も良いが、どこにでもある遊具で、貝塚公園感はないと思う。案2のように象徴的なものという意味でも「山」という形は有効なのだと思う。

【ジグザグ滑り台、置物遊具、ブランコ、鉄棒】

- ・ジグザグ滑り台は入口が狭いので、上で事故が起こった時、大人がすぐ助けに行けず危険である。
- ・代替施設の必要があるのかは再整備の計画とあわせて検討が必要。

【桜島の溶岩】

- ・移設までして残さなくて良い。
- ・非常に硬く壊すのも大変なので、公園の歴史の継承として意味があるなら残して良いと思う。

【日時計】

- ・教育的な意味があり良い施設である。位置を動かしても機能するのなら、残して良いのではないかと。

【徒渉池】

- ・現状は衛生状態が良くない。尚、水遊びができると子どもが集まってくる。噴水や人工池も撤去するので、水遊びができる場所がなくなってしまう。

【石碑、人工池、観覧席、噴水、ローラースケート場、レストハウス】

（評価案に対して、特に意見なし）